

第14期 中間報告書

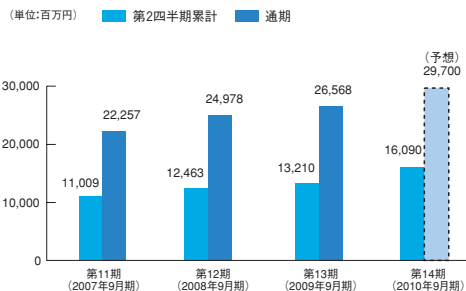
2009.10.1~2010.3.31

14

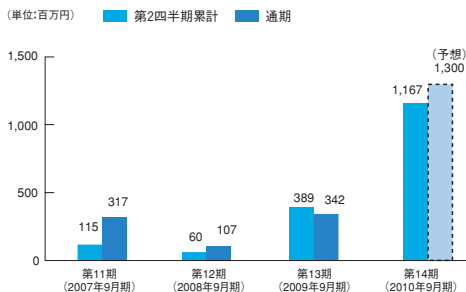
d w a n g o

財務ハイライト

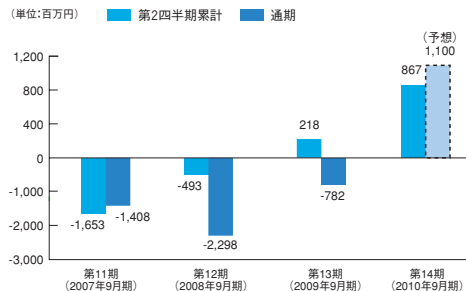
連結売上高



連結経常利益



連結四半期(当期)純利益



d w

ネットに生まれて、ネットにつながる。

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第14期第2四半期(2009年10月から2010年3月まで)における業績の概況及び通期の見通しについてご報告いたします。



代表取締役社長
小林 宏

an g o

各事業の概況ですが、まずポータル事業において「ニコニコ動画」が黒字化を達成いたしました。これは、政治や音楽、スポーツ、芸能、ニュースなど、幅広い層のユーザに対応した斬新かつ新鮮な各種コンテンツをリアルタイム配信する「ニコニコ生放送」が人気を博し、さらに継続的な新機能・新サービスの投入、ユーザの利便性向上に努めた結果、プレミアム会員が順調に増加したことによるものです。

モバイル事業においては、モバイルコンテンツ市場が縮小傾向の中、着うた®・着うたフル®サイトを中心に人気楽曲の権利獲得や、ユーザ拡大に効果的なプロモーションを実施するなど会員の獲得に努めてまいりました。

ゲーム事業においては、当社グループの主力シリーズタイトルのパッケージゲームや、海外人気タイトルの権利獲得による国内提供などが収益貢献いたしました。その他は厳しい市場環境に伴い全般的に軟調となりました。

以上の結果、当第2四半期連結業績は、売上高160億90百万円(前年同期比21.8%増)、営業利益11億81百万円

(前年同期比186.4%増)、経常利益11億67百万円(前年同期比199.8%増)、四半期純利益は8億67百万円(前年同期比297.1%増)となりました。

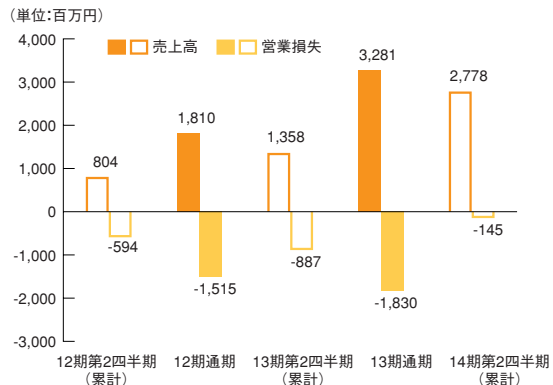
なお、通期の業績見通しにつきましては、2009年11月12日に公表しておりました期初予想を修正いたしました。修正後の業績は、売上高297億円(前期比11.7%増)、営業利益13億円(前期比227.4%増)、経常利益13億円(前期比280.1%増)、当期純利益11億円(前期は7億82百万円の損失)を見込んでおります。

当社グループでは、変化が続く事業環境の中、ネットワークを通じた新しいコミュニケーション手段を提供すべく、良質なエンタテインメントサービスをPC・携帯電話・ゲームソフト市場で事業展開してまいります。

株主の皆様には何卒ご理解のうえご支援賜りますようお願い申し上げます。

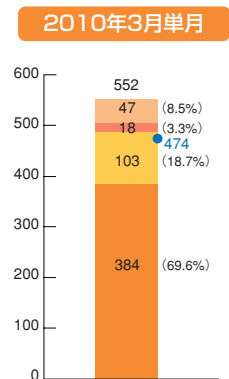
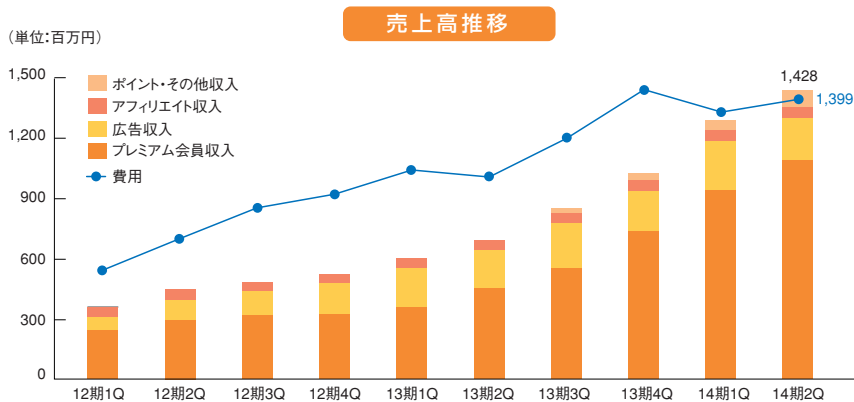
ポータル事業

◆売上高及び営業損失



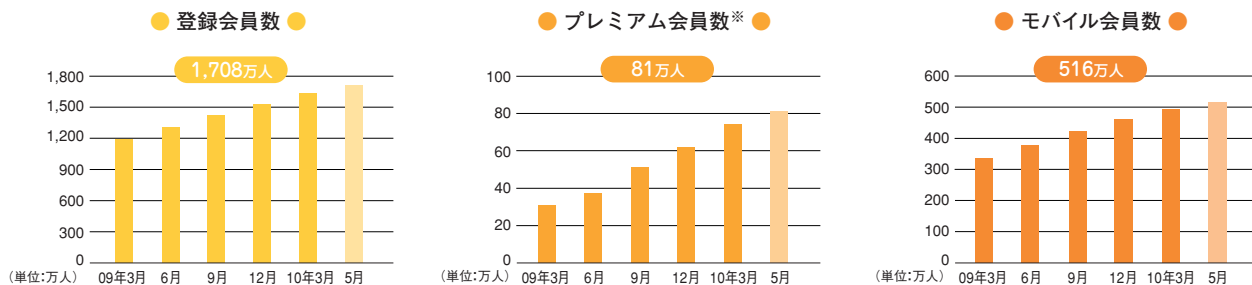
ポータル事業の当第2四半期(累計)の売上高は27億78百万円(前年同期比104.4%増)、営業損失は1億45百万円(前年同期は8億87百万円の営業損失)となり、未だ本格的な収益の貢献には至っていません。同事業の柱となる動画コミュニティサービス『ニコニコ動画』は、2006年12月にサービス開始以来、回線・サーバ増強の費用や新サービスへの投資が継続的に発生していましたが、その一方でプレミアム会員(有料会員)が順調に増えたことに加え、広告収入が堅調に推移したことにより、第2四半期(1月～3月)の売上高は14億28百万円、費用は13億99百万円となり、29百万円の黒字となりました。

◆『ニコニコ動画』の収支実績



『ニコニコ動画』の会員数推移

各会員数は順調に増加し成長を続けています。プレミアム会員については、『ニコニコ生放送』をはじめとした人気コンテンツの拡充や、携帯での月額課金対応などが寄与し、2010年5月14日に80万人を突破しました。



※プレミアム会員＝有料会員・・・月額525円またはチケット課金90日1,680円にて、専用回線での快適な視聴や生放送の優先視聴ほか様々な特典を受けられる。

新コンテンツ『ニコニコ遊園地』のご紹介

動画視聴中にニコニコ動画にアクセスしている他のユーザと遊ぶことができるゲームコンテンツ。釣りやパズルゲームなど全7種類で、「生中継機能」を使えばニコニコ生放送の出演者とのプレイも可能。また新たな収益手段としてアイテム課金を導入しています。

動画視聴中も遊べる!



広告メディアとしての取り組み

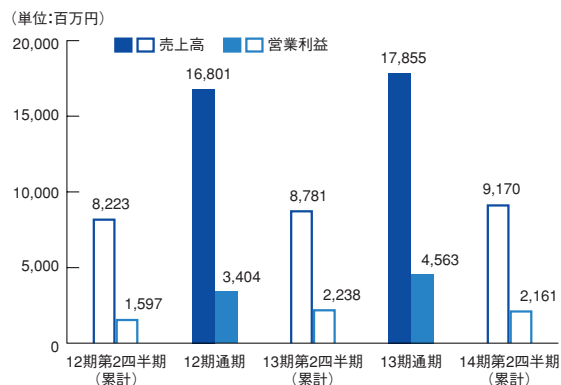
ニコニコ動画をメディアとした企業とのタイアップキャンペーンに注力しています。味の素とのキャンペーン『コクうま料理祭』では、マヨネーズを使った創作料理の動画投稿コンテストを実施したところ、その後の2ヶ月間、マヨネーズの売上が5%アップするという販売促進効果があったため、引き続き『第2回コクうま料理祭』の開催が決定しました。

『第2回コクうま料理祭』開催決定!



モバイル事業

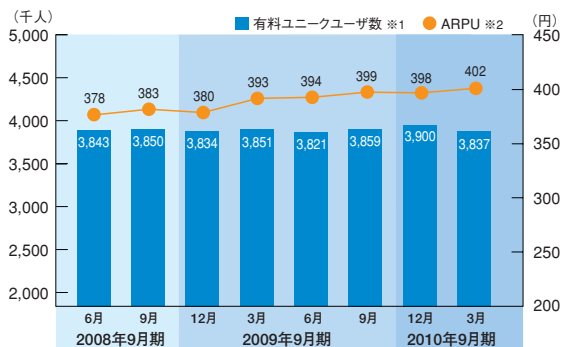
◆売上高及び営業利益



携帯電話向け音楽配信サイト『dwango.jp』では、嵐やNEWSなど人気アーティストの着うた®、待ちうたの独占先行配信により差別化を図るとともに、開発力を活かしたオリジナルコンテンツや他社との連動企画コンテンツなどを提供してきました。ユーザーニーズの傾向としては、高単価の着うたフル®の購入比率が高まっていますが、それに伴い著作権等使用料が増加しています。

その結果、当第2四半期末の有料ユニークユーザ数*1は、383万7千人（前年同期比3万2千人減）、ARPU*2は402円（前年同期比8円増）、当第2四半期（累計）の売上高は91億70百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は21億61百万円（前年同期比3.4%減）となりました。

◆ユニークユーザ数とARPUの推移



*1 有料ユニークユーザ数とは、ユーザIDに基づきカウントする有料ユーザ数。延べ数ではなく、同一ユーザが複数サイトへ加入している場合にも1人としてカウント。

*2 ARPU (Average Revenue Per User) とは、ユーザ1人当たりの月間売上高のこと。同一ユーザの複数サイトへの加入状況を把握することで算出が可能（顧客単価と同義）。

★★★★★ PICK UP ★★★★★



©DWANGO CO., Ltd.
©bijin-tokei

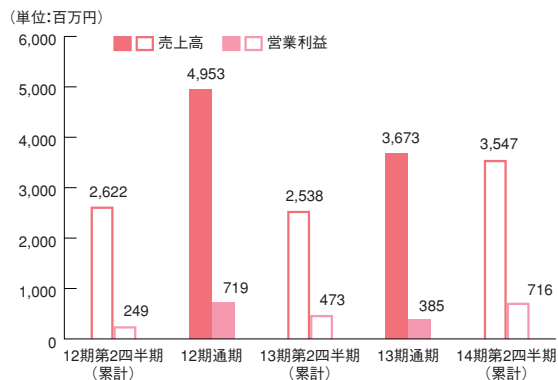
『美人時計 for モバイル』

時刻を書いたボードを持った美女たちの写真が1分単位で切り替わって今の時刻をしてくれる話題の人気ウェブサイト「美人時計」を携帯版として『dwango.jp』にて配信し、大きな集客につながりました。音楽配信以外にも、トレンドにいち早く対応したコンテンツを展開しています。



ゲーム事業

◆売上高及び営業利益

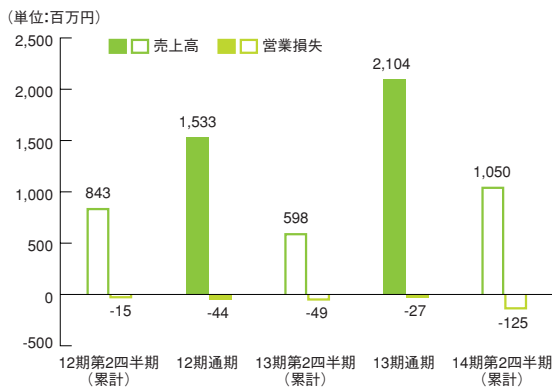


国内タイトルでは「喧嘩番長4」や「不思議のダンジョン 風来のシレン4」、海外タイトルの国内向けでは「セイクリッド2」、ネットワークゲームではMMORPG「Blade Chronicle」などが売上に貢献しましたが、国内家庭用ゲーム市場環境は依然厳しく、ソーシャルゲーム市場の台頭などもあり、他のタイトルは全般的に軟調となりました。

以上の結果、ゲーム事業の売上高は35億47百万円(前年同期比39.7%増)、営業利益は7億16百万円(前年同期比51.5%増)となりました。

その他事業

◆売上高及び営業損失



主にアニメ分野でのCDやDVDなどの音楽出版による著作権利用料収入や、歌手や声優を発掘・育成するスクール運営事業、所属アーティストのマネジメント収入などがそれぞれ売上に貢献し、その他事業の売上高は10億5百万円(前年同期比75.6%増)、営業損失は1億25百万円(前年同期は49百万円の営業損失)となりました。

連結財務諸表(要旨)

■ 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間 (2010年3月31日現在)	前期 (2009年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	15,695	16,057
現金及び預金	4,164	4,278
受取手形及び売掛金	6,413	5,668
有価証券	3,504	4,303
たな卸資産	388	918
その他	1,228	892
貸倒引当金	△ 4	△ 5
固定資産	5,307	4,863
有形固定資産	1,123	991
無形固定資産	1,267	884
投資その他の資産	2,915	2,987
投資有価証券	2,336	2,303
その他	579	684
資産合計	21,002	20,921

科目	当第2四半期連結会計期間 (2010年3月31日現在)	前期 (2009年9月30日現在)
(負債の部)		
流動負債	5,350	5,892
支払手形及び買掛金	1,860	1,814
短期借入金	900	900
未払法人税等	93	88
賞与引当金	388	392
その他の引当金	53	34
その他	2,053	2,662
固定負債	125	63
負債合計	5,475	5,955
(純資産の部)		
株主資本	14,817	14,324
資本金	10,072	10,072
資本剰余金	9,402	9,777
利益剰余金	△ 3,178	△ 4,046
自己株式	△ 1,479	△ 1,479
評価・換算差額等	127	76
少数株主持分	581	565
純資産合計	15,526	14,966
負債純資産合計	21,002	20,921

■ 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (自 2009年10月1日 至 2010年3月31日)	前第2四半期連結累計期間 (自 2008年10月1日 至 2009年3月31日)
売上高	16,090	13,210
売上原価	9,139	7,514
売上総利益	6,950	5,696
販売費及び一般管理費	5,768	5,283
営業利益	1,181	412
営業外収益	15	50
営業外費用	29	73
経常利益	1,167	389
特別利益	125	14
特別損失	148	92
税金等調整前四半期純利益	1,144	310
法人税、住民税及び事業税	133	74
過年度法人税等戻入額	—	△ 111
法人税等調整額	108	131
少数株主利益又は損失(△)	34	△ 1
四半期純利益	867	218

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

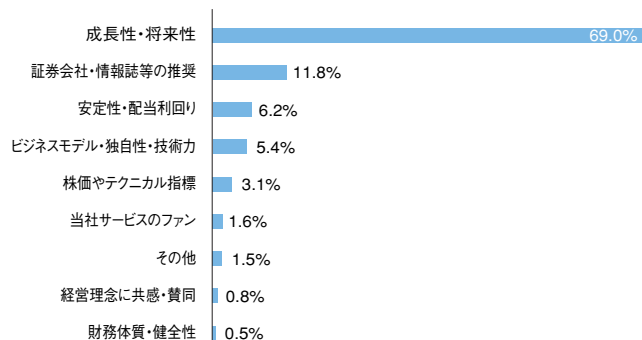
科目	当第2四半期連結累計期間 (自 2009年10月1日 至 2010年3月31日)	前第2四半期連結累計期間 (自 2008年10月1日 至 2009年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	800	1,154
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,338	△ 1,580
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 375	△ 2,043
現金及び現金同等物に係る 換算差額	0	△ 2
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 913	△ 2,471
現金及び現金同等物の 期首残高	8,382	11,674
現金及び現金同等物の 四半期末残高	7,469	9,203

■ 「株主様アンケート」集計結果のご報告

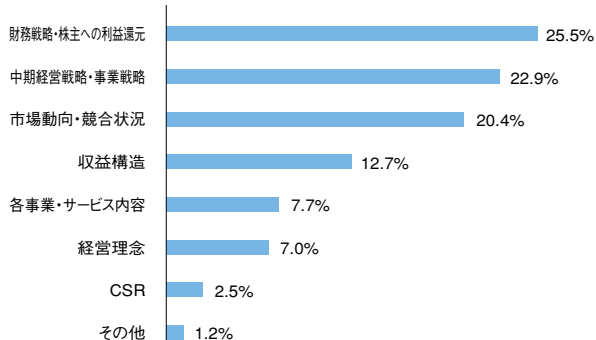
第13期定時株主総会決議ご通知に同封の「株主様アンケート」につきましては、数多くの株主様からご返信をいただき、誠にありがとうございました。簡単ではありますが、集計結果をご報告申し上げます。■ 当社からの送付数:12,761名様 ■ 株主様からのご返送数:661名様

当社株式の保有期間	6ヶ月未満	7.8%	6ヶ月～1年未満	15.1%	1～3年未満	42.6%
		3～5年未満	20.6%	5年以上	10.8%	上場時から

Q1 当社株式を購入された理由をお聞かせください。(1つだけ回答)



Q2 企業を評価するに際し、重視される項目は何でしょうか。(複数回答可)



●「株主様アンケート」の結果をふまえ、今後のIR活動の向上に努めてまいります。

■ 利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様をはじめとするステークホルダに対する利益配分を継続的に実施することが重要であり、その前提として永続的な企業経営を行うことが必要であると考えております。そのためには、企業体質の強化、将来の事業展開に備え内部留保を充実させることが必要条件であると考えております。

その上で、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識しており、各期の経営成績を考慮に入れて検討してまいりたいと考えております。

	1株当たり期末配当(円) 発行済株式数(株)	
2010年9月期(第14期) 予定	2,000	198,001
2009年9月期(第13期)	2,000	198,001
2008年9月期(第12期)	2,000	203,836
2007年9月期(第11期)	2,000	203,287
2006年9月期(第10期)	2,000	202,007

配当金の状況(2010年3月31日現在)

当社ホームページのご紹介

ホームページのIR情報サイトでは、決算情報やIR資料、最新のニュースリリースなどを掲載しています。

 <http://info.dwango.co.jp/>

またはこちら



 <http://info.dwango.co.jp/>

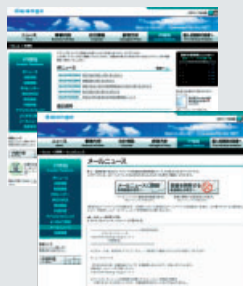


■ メールニュース(無料)

IR関連の最新情報をメールでお届けするサービスです。
パソコンのEメールアドレスをお持ちであれば、どなたでもご登録いただけます。

▼
ホームページ「IR情報」サイト

▼
「メールニュース」からご登録



■ アンケートにご協力ください

ホームページでは随時アンケートを実施しております。この機会に是非、お声をお聞かせください。

▼
ホームページ
「個人投資家の皆様へ」サイト

▼
左側のメニューバー
「アンケートにご協力ください」
からご回答いただけます。



■ 株式の状況 (2010年3月31日現在)

発行可能株式総数……………528,000株
発行済株式総数……………198,001株
株主数……………13,058名

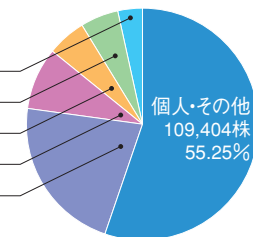
大株主の状況

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社	40,900	20.65
川上 量生	36,395	18.38
森 栄樹	10,100	5.10
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,656	2.85
太田 豊紀	4,750	2.39
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,859	1.94
小林 宏	1,960	0.98
夏野 剛	1,500	0.75
ピー・エヌ・ピー・パリバ・セキュリティーズ(ジャパン)リミテッド (ピー・エヌ・ピー・パリバ証券会社)	1,428	0.72
クラリデン ロイ リミテッド	1,000	0.53

※上記の他、自己株式10,749株を保有

所有者別株式数比率

金融商品取引業者 6,803株 3.44%
外国法人等 10,503株 5.30%
自己名義株式 10,749株 5.43%
金融機関 17,149株 8.66%
その他の法人 43,393株 21.92%



IRカレンダー（予定）※日程の詳細は、当社ホームページに随時掲載いたします。

第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	通期 決算発表	株主総会 期末報告書 配布		第1四半期 決算発表			第2四半期 決算発表	中間報告書 配布		第3四半期 決算発表	

株主メモ

事業年度 10月1日～翌年9月30日

定時株主総会 毎年12月

期末配当基準日 9月30日

※その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。

公告方法 電子公告により行う

公告掲載 URL <http://info.dwango.co.jp/ir/>

※なお、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人

特別口座の 三菱UFJ信託銀行株式会社

口座管理機関

同連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL:0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所

■ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

dwango

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1 浜町センタービル

TEL:03-3664-5477 FAX:03-3664-5478

E-mail: ir@dwango.co.jp URL: <http://info.dwango.co.jp/>

■会社概要 (2010年3月31日現在)

設立年月日 1997年8月6日

資本金 100億7,292万円

従業員数 単体496名 連結805名

事業内容 次世代ネットワークエンタテインメントを対象としたコンテンツ及びシステムの企画、開発、運用、サポート、コンサルティング

役員	代表取締役会長	川上 量生
	代表取締役社長	小林 宏
	取締役副社長	太田 豊紀
	取締役	松本 康一郎
	取締役	夏野 剛
	取締役	麻生 巖
	取締役	荒木 隆司
	取締役	佐藤 辰男
	監査役（常勤）	小池 哲
	監査役	鈴木 祐一
	監査役	永野 明
	監査役	藤田 隆

子会社 株式会社ドワンゴ・ミュージックエンタテインメント
株式会社ドワンゴプランニング アンド デベロップメント
株式会社ニワンゴ
株式会社スカイスクレイパー
株式会社モバイルコンテンツ
株式会社ゲームズアリーナ
株式会社チュンソフト
株式会社スパイク
株式会社ティーアンドイーソフト
ゲームズアリーナ有限責任事業組合2号
ai sp@ce製作委員会
多玩國股份有限公司 (台湾 台北市)

関連会社 株式会社AG-ONE